



美しい富士山を未来の子どもたちに ●ふじさんネットワーク●

# ふじさんネットワーク通信。

会員  
募集中!



©静岡県

## ●富士山憲章【行動規範】

- 1・富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 1・富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 1・富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 1・富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 1・富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

## 1 新会長が決まりました

9月8日（火）に三島商工会議所で開催された幹事会において、特定非営利活動法人静岡自然環境研究会の増澤武弘理事長が新会長に選任され、10月1日付けで就任することになりました。

増澤新会長は、静岡大学理学部教授を経て、現在、静岡大学特任教授であり、富士山、南アルプスをはじめとして国内外で極限環境に生育する植物について研究されています。

## 新会長就任の御挨拶

### 「富士山における自然の変化」

富士山が世界文化遺産に登録されてから、2年が経過しました。それより以前には「自然遺産」としての認定をめざした経緯もあり、富士山の文化的価値と同時に、「自然の価値」の側面は長く支持され、推薦されてきました。世界文化遺産に認定される際にも、富士山をめぐる文化は、その自然の要素によって生まれ、守られてきたものとされました。

今も、文化遺産の構成資産となった神社などの周りは緑豊かな社叢が存在し、その背後には富士山の山体を覆う、自然の森林を見ることができます。しかし、実際には、長い間安定していたこの自然の条件は、いたるところで変化しつつあります。

まず、富士山頂には、過去には見られなかった、標高の低い場所に生育する維管束植物が侵入し、最近では花を咲かせ種子をつくるようにさえなってきました。また、永久凍土の減少、コケ類の分布拡大も見られます。中腹では、森林限界が上昇し、外来種の増加と多様化など、大きな変化として捉えられるようになっていきます。森林限界より下には、亜高山帯の常緑針葉樹林、山地帯の落葉広葉樹林が広く分布していますが、ここにも近年大きな変化が見られます。この急速な変化をもたらしているのが、ニホンジカの食圧・踏圧です。ニホンジカは針葉樹の根元付近の樹皮を食べるため、大径木の樹勢が衰え、枯死した個体が目立つようになりました。落葉広葉樹林では、下層や林床の植生が全面的な食害をうけ、天然更新が阻まれています。

さらに、大きいのは人の影響です。夏期に集中する登山による影響の他、多くの人々が走るトレイルランなど、集中的な踏み付けが生じる地点が増えてきました。

このような変化に対し、「富士山憲章」に鑑みて、現場での現象をしっかりと把握し、できる限り早い対応が必要です。私たちは行政と協力し、適切かつ迅速な対処をしなければなりません。これからも皆様と共に、協力して富士山の自然の保護・保全のため、手を携えて活動していきたいと思っております。



増澤 武弘  
新会長

## 2 「ウルトラトレイル・マウントフジ2015」の開催に係る意見交換会

富士山の周囲の登山道等を走って一周するウルトラトレイル・マウントフジ（UTMF）が、富士山の環境に与える影響と問題点について、主催者、監督官庁、及び現地調査を行った関係者が認識を共有するため、意見交換会が開催されました。

日時 平成27年7月27日（月） 午前9：30～12：30

場所 富士宮市役所4階 410会議室

出席団体  
 （国）環境省箱根自然環境事務所、静岡森林管理署  
 （県）静岡県自然保護課  
 （市町〔主催者〕）富士宮市、富士市、御殿場市、裾野市、小山町  
 （主催者）UTMF実行委員会事務局  
 （関係者〔現地調査実施者〕）富士山エコレンジャー連絡会 計28名

内容  
 1 参加者自己紹介 2 大会の開催計画・コース説明  
 3 エコレンジャーによる調査報告・問題点の指摘 4 市町からの意見・提案  
 5 質疑応答 6 主催者への提案

提案内容  
 ① 調査箇所の手合現地確認の実施  
 ② 2015年コースの手合事前確認の実施  
 ③ 専門家による自然環境調査の実施  
 ④ 「自然環境への影響」について参加者に周知徹底させる  
 ⑤ 荒れた箇所の今後の対策



## 3 「ウルトラトレイル・マウントフジ2015」のコース事前現地確認

7月27日に開催された意見交換会の結果を受けて、関係者によるウルトラトレイル・マウントフジのコースの手合現地確認が、3回に渡って実施されました。

結果、複数の荒廃箇所が確認され、当レースとの因果関係は明確ではありませんが、影響を及ぼしていることは否定できず、今後も継続調査が必要との認識を共有することができました。

第1回 日時 平成27年8月21日（金） 午前8：50～午後1：30

場所 裾野市須山口歩道コース

参加者 環境省沼津自然保護官事務所、静岡県自然保護課、裾野市、御殿場市、UTMF実行委員会事務局、富士山エコレンジャー 計13名

第2回 日時 平成27年8月27日（木）  
午前9：45～午後3：00

場所 小山町明神峠自然環境保全地域コース

参加者 環境省沼津自然保護官事務所、静岡県自然保護課、小山町、UTMF実行委員会事務局 計10名

第3回 日時 平成27年8月28日（金）  
午前9：15～午後2：30

場所 富士宮市長ヶ岳～国民休暇村富士コース、富士宮市根原地区コース

参加者 環境省沼津自然保護官事務所、静岡県自然保護課、富士宮市、富士市、UTMF実行委員会事務局、富士山エコレンジャー 計14名



### 3 「秋の富士山ごみ減量大作戦」参加者募集！

富士山の山麓周辺道路沿いでは森林内への不法投棄や道路わき・駐車場などに多くのポイ捨てごみが見受けられ、富士山の美観とイメージを損ねています。

そこで、富士山の環境保全対策を推進するとともに、環境保全意識の高揚を図るため、ボランティアによる清掃活動「秋の富士山ごみ減量大作戦」を実施しますので、ぜひ御参加ください。

主催	静岡県、裾野市、静岡第一テレビ 24 時間テレビチャリティー委員会、ふじさんネットワーク
日時	平成27年10月31日(土)午前9時30分～正午(少雨決行、荒天中止) ※中止の判断は、前日午後3時までに行います。
集合場所	裾野市富士山資料館グラウンド(第二駐車場の向かい側)
集合方法	自家用車又は無料送迎バス(JR三島駅北口ロータリー 8時30分発車)
活動場所	裾野市須山付近の道路わき
応募方法	郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、送迎バス利用の有無を御記入の上、郵便、ファクシミリ又は電子メールによりお申し込みください。
応募先	【住所】 〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 静岡県 暮らし・環境部 環境局 自然保護課 富士山保全班 【電話番号】 054-221-2963 【FAX 番号】 054-221-3278 【Eメール】 shizenhogo@pref.shizuoka.lg.jp
応募資格	ボランティアとして御参加いただける、中学生以上の方ならどなたでも結構です。
募集定員	60名(先着順)
募集期限	平成27年10月16日(金)まで
昨年度の様子	

### 『事務局からのお知らせ』

- ◇ 平成27年10月1日現在 正会員:254団体 賛助会員:241団体・個人 計495団体・個人
- ◇ ふじさんネットワーク通信への掲載情報募集中です！お気軽にご連絡ください。
- ◇ ふじさんネットワークへの入会も随時受付中です！

発行

ふじさんネットワーク事務局 静岡県 暮らし・環境部 環境局 自然保護課 富士山保全班内  
〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL:054-221-2963 FAX:054-221-3278  
HP: <http://www.fujisan-net.gr.jp/> E-mail : [3776fuji@pref.shizuoka.jp](mailto:3776fuji@pref.shizuoka.jp)